

追加型投信／海外／株式  
信託期間：2023年5月24日 から 無期限  
決算日：毎年5,11月の各23日（休業日の場合翌営業日）  
基準日：2026年1月30日  
回数コード：3490

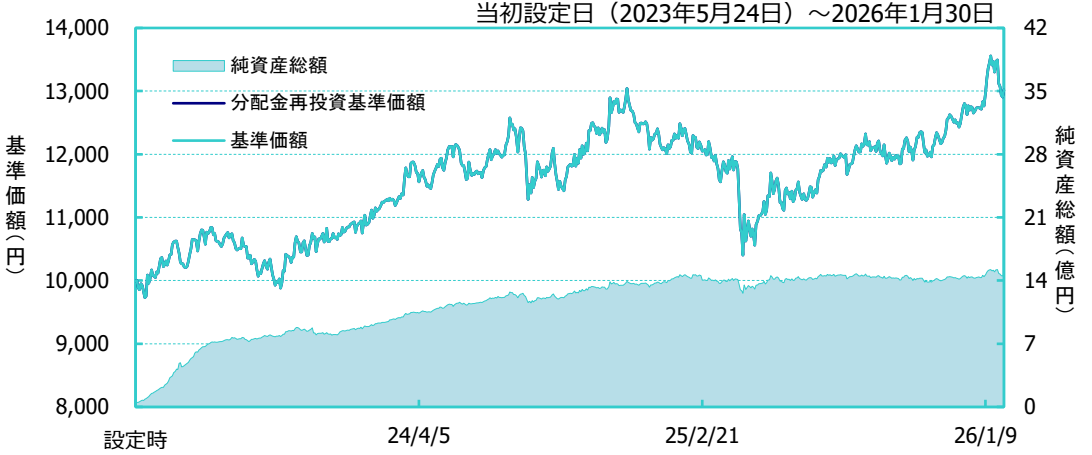
※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

＜基準価額・純資産の推移＞

2026年1月30日現在

|       |          |
|-------|----------|
| 基準価額  | 13,020 円 |
| 純資産総額 | 14億円     |

| 期間別騰落率 |         |
|--------|---------|
| 期間     | ファンド    |
| 1カ月間   | +2.2 %  |
| 3カ月間   | +7.9 %  |
| 6カ月間   | +9.0 %  |
| 1年間    | +5.0 %  |
| 3年間    | -----   |
| 5年間    | -----   |
| 年初来    | +2.2 %  |
| 設定来    | +30.2 % |



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。  
※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。  
※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。  
※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

＜分配の推移＞

(1万口当たり、税引前)

| 決算期(年/月) |         | 分配金     |
|----------|---------|---------|
| 第1期      | (23/11) | 0円      |
| 第2期      | (24/05) | 0円      |
| 第3期      | (24/11) | 0円      |
| 第4期      | (25/05) | 0円      |
| 第5期      | (25/11) | 0円      |
| 分配金合計額   |         | 設定来： 0円 |

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

＜主要な資産の状況＞

※比率は、純資産総額に対するものです。

| 資産別構成       |     |        |
|-------------|-----|--------|
| 資産          | 銘柄数 | 比率     |
| 外国株式        | 50  | 93.7%  |
| 外国リート       | 1   | 1.9%   |
| 外国投資信託      | 1   | 1.5%   |
| コール・ローン、その他 |     | 2.9%   |
| 合計          | 52  | 100.0% |

| 国・地域別構成 |       | 合計97.1% |
|---------|-------|---------|
| 国・地域名   | 比率    |         |
| アメリカ    | 97.1% |         |

| 通貨別構成 |       | 合計100.0% |
|-------|-------|----------|
| 通貨    | 比率    |          |
| 米ドル   | 98.8% |          |
| 日本円   | 1.2%  |          |

| 株式 業種別構成   |       | 合計93.7% |
|------------|-------|---------|
| 業種名        | 比率    |         |
| 生活必需品      | 26.1% |         |
| 資本財・サービス   | 20.7% |         |
| 公益事業       | 17.0% |         |
| 素材         | 9.5%  |         |
| 金融         | 9.4%  |         |
| ヘルスケア      | 7.5%  |         |
| 一般消費財・サービス | 3.7%  |         |

※業種名は、原則としてS&PとMSCI Inc.が共同で作成した世界産業分類基準(GICS)によるものです。  
※外国株式の国・地域名については、原則としてMSCI Inc.が提供するリスク所在国・地域に基づいて表示しています。  
■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメントにより作成されたものです。当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。当ファンドの取得をご希望の場合には投資信託説明書(交付目論見書)を販売会社よりお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上ご自身でご判断ください。後述の当資料のお取り扱いにおけるご注意をよくお読みください。

設定・運用:

大和アセットマネジメント  
Daiwa Asset Management

商号等

大和アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号  
一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

加入協会

| 組入上位10銘柄紹介                        |  |
|-----------------------------------|--|
| 銘柄名                               | 銘柄紹介   |
| NUCOR CORP                        | 1905年に設立され、ノースカロライナ州に本社を置いている鉄鋼メーカーです。米国における鉄鋼および鉄鋼製品の製造、貿易、販売の大手企業であり、北米最大の金属スクラップ再生業者でもあります。   |
| PARKER-HANNIFIN CORP              | 1917年に設立された動力制御機器メーカーで、オハイオ州に本社を置いています。同社製品は、幅広い産業の動力制御システムに組み込まれています。同社は世界45カ国で事業を展開しており、世界中で同じ製品が手に入り、ローカルサービスも迅速に受けられるため、顧客は生産活動のダウンタイムを最小限に抑えることができます。このように製品とサービスの両面から顧客を囲い込むビジネスモデルにより、安定収益を確保することができます。 |
| PPG INDUSTRIES INC                | 1883年に設立され、世界最初の板ガラス工場を経営したガラス・化学メーカーで、ペンシルベニア州に本社を置いています。同社は、幅広い塗料、コーティング、特殊材料を製造・販売しており、売上高の半分近くを米国とカナダから得ています。  |
| ABM INDUSTRIES INC                | 1909年に設立された施設管理請負会社で、ニューヨーク州に本社を置いています。商業、工業、および公共分野の各顧客から空調、エンジニアリング、清掃、照明、駐車場、警備などの施設サービスを請け負い、世界各地で事業を展開しています。  |
| CALIFORNIA WATER SERVICE GROUP    | 1926年に設立された水道事業会社で、カリフォルニア州に本社を置いています。同社は、カリフォルニア州、ワシントン州、ニューメキシコ州、ハワイ州、テキサス州で水道事業やその他の関連サービスを提供しています。また、再生水の配水システムの運営、検針、請求サービス、通信アンテナ用地の賃貸など、規制外の水関連サービスの提供にも取り組んでいます。                                       |
| NORTHWEST NATURAL HOLDING COMPANY | 1859年に設立された天然ガス会社で、オレゴン州に本社を置いています。同社は、米国とカナダの住宅用、商業用、工業用の顧客にサービスを提供しており、子会社を通じて天然ガス配給システムの建設・維持、天然ガス・パイプライン・プロジェクトへの投資を行っています。  |
| ILLINOIS TOOL INC                 | 1912年に設立された産業機器のグローバル企業で、イリノイ州に本社を置いています。同社は自動車OEM(相手先ブランドによる生産)、試験・計測・エレクトロニクス、食品機器などの7つのセグメントを通じて事業を展開しており、全てのセグメントにおいて高い収益率を維持しています。  |
| PROCTER & GAMBLE                  | 1837年に設立された消費財メーカーで、オハイオ州に本社を置いています。同社は、世界最大の消費者向けパッケージ商品メーカーであり、その事業を5つのグローバルセグメントに分けて、世界180以上の国や地域で展開しています。同社のリーディングブランドには、ファブリーズ、パンパース、ジレット、バンテン、ジョイなどがあり、売上の半分以上は米国外で生み出されています。                            |
| STEPAN                            | 1932年に設立された化学品メーカーで、イリノイ州に本社を置いています。同社は、界面活性剤部門、ポリマー部門、そして特殊製品部門の3つのセグメントを通じて事業を展開し、世界中のさまざまな最終製品に使用される特殊化学品および中間化学品を製造し、他のメーカーに販売しています。   |
| EMERSON ELECTRIC                  | 1890年に設立された世界的な電機メーカーで、ミズーリ州に本社を置いています。同社は積極的なM&A戦略により、成熟したニッチ市場のトップ企業の買収を繰り返すことで、電力産業の自動化に強みを持つコングロメリット企業に成長しました。市場動向が安定し新規参入も起こりにくい成熟産業中心の事業ポートフォリオから安定的に高収益を得ながらも、隣接業種を押さえた相乗効果で成長するのが同社独自の事業戦略です。          |

※銘柄紹介は、各種資料より、大和アセットマネジメントが作成したものです。

※個別企業の推奨を目的とするものではありません。

### 【市場動向】

#### 米国株は上昇しました。

半導体関連株に加え、資本財などの景気敏感株が上昇をけん引し、堅調に始まりました。しかし、月半ばにトランプ大統領が米国のグリーンランド領有に反対する欧州8カ国に追加関税を課すと表明し、欧州側も報復関税を示唆したことで、貿易戦争再燃への警戒感が高まり、大幅に下落しました。その後、同大統領が一転して追加課税を撤回すると相場は反発し、半導体関連株を中心に堅調に推移しました。

#### 為替市場では、円高・米ドル安となりました。

日本の衆議院解散による積極財政推進への思惑などから円安が進行する場面もありましたが、為替介入の前段階とされるレートチェックを日米双方の当局が実施したとの観測を受けて、円高・米ドル安が進行しました。

### 【ファンドの運用状況】

#### 月間の動き

主に個別株要因で、基準価額は上昇しました。

個別銘柄では、米国調査会社により目標株価を引き上げられたSTEPAN COや、栄養事業の会計処理に関して米国証券取引委員会との和解および米国司法省による調査終結の発表が好感されたARCHER-DANIELS-MIDLAND COや、第2四半期決算でコンセンサスを上回る利益を発表したSYSCO CORPなどが、基準価額上昇に寄与しました。

一方、第4四半期決算でコンセンサスを下回る売上高を発表したABBOTT LABORATORIESや、第2四半期決算で成長率のガイダンスを引き下げたAUTOMATIC DATA PROCESSINGや、損保セクター全体の引受マージン悪化を理由にブローカーから目標株価を引き下げられたCINCINNATI FINANCIAL CORPなどが、基準価額下落に寄与しました。

### 【今後の展望・運用方針】

#### 市場展望

米国株式市場は、堅調な展開が想定されます。AI関連分野における半導体関連株への高い期待に加え、データセンターなどAI関連投資を背景に、AI周辺株を含む景気敏感株がけん引する展開が想定されます。一方、相場のかく乱要因としては、トランプ大統領がもたらす政治リスクが挙げられます。トランプ大統領は「TACO」との見方が根強く、相場を大きく混乱させる政策を貫く可能性は低いとみられるものの、一定の警戒は必要と考えられます。

為替市場は、方向感に欠ける展開を想定しています。再び円安圧力が強まれば、日銀の利上げ前倒し観測や日本の円買い為替介入への警戒感が高まることで、大幅な円安は抑制されると予想します。一方で円高圧力が強まれば、為替介入への警戒や日銀の利上げ観測が後退することで、大幅な円高も抑制されると予想します。当面の米ドル円は方向感に欠ける展開を想定します。

#### 運用方針

当ファンドは、米国の株式等の中から、50年以上連続で増配している「配当王銘柄」に着目し、継続的に増配を行う企業の株式等に投資をすることで、配当収入の確保と値上がり益の獲得により信託財産の成長をめざします。引き続き、継続的に増配を行う企業の株式等の中から、流動性や財務健全性を考慮し、ポートフォリオを構築します。

## 《ファンドの目的・特色》

### ファンドの目的

- ・米国の株式等の中から、継続的に増配を行なう企業の株式等に投資し、配当収入の確保と値上がり益の獲得により信託財産の成長をめざします。

### ファンドの特色

- ・米国の株式等の中から、継続的に増配を行なう企業の株式等に投資します。
- ・毎年 5 月 23 日および 11 月 23 日（休業日の場合翌営業日）に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。

## 《投資リスク》

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。**

|                           |  |
|---------------------------|--|
| 価格変動リスク・信用リスク<br>株価の変動    | 組入資産の価格が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。<br>株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動します。発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。 |
| 価格変動リスク・信用リスク<br>リートの価格変動 | 組入資産の価格が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。<br>リートの価格は、不動産市況の変動、リートの収益や財務内容の変動、リートに関する法制度の変更等の影響を受けます。                          |
| 為替変動リスク                   | 外貨建資産については、資産自体の価格変動のほか、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。組入外貨建資産について、当該外貨の為替レートが円高方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。               |
| カントリー・リスク                 | 投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、基準価額が予想外に下落したり、方針に沿った運用が困難となることがあります。                                |
| その他                       | 解約資金を手当てするため組入証券を売却する際、市場規模や市場動向によっては市場実勢を押下げ、当初期待される価格で売却できないこともあります。この場合、基準価額が下落する要因となります。   |

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

### その他の留意点

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第 37 条の 6 の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要がある場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付が中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。



## 《ファンドの費用》

| 投資者が直接的に負担する費用      |                                   |   |
|---------------------|-----------------------------------|---|
|                     | 料率等                               | 費用の内容   |
| 購入時手数料              | 販売会社が別に定める率<br>※徴収している販売会社はありません。 | —   |
| 信託財産留保額             | ありません。                            | —   |
| 投資者が信託財産で間接的に負担する費用 |                                   |   |
|                     | 料率等                               | 費用の内容   |
| 運用管理費用<br>(信託報酬)    | 年率0.286%<br>(税抜0.26%)             | 運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎日計上され日々の基準価額に反映されます。 |
| 配分<br>(税抜)<br>(注1)  | 委託会社                              | 年率0.14%   |
|                     | 販売会社                              | 年率0.10%   |
|                     | 受託会社                              | 年率0.02%   |
| その他の費用・<br>手数料      | (注2)                              | 監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。 |

(注1)「運用管理費用の配分」には、別途消費税率を乗じた額がかかります。

(注2)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※運用管理費用の信託財産からの支払いは、毎計算期末または信託終了時に行なわれます。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。また、上場不動産投資信託およびETFは市場価格により取引されており、費用を表示することができません。

|                        |  |
|------------------------|--|
| 購入単位                   | 最低単位を 1 円単位または 1 口単位として販売会社が定める単位  |
| 購入価額                   | 購入申込受付日の翌営業日の基準価額（1 万円当たり）   |
| 購入代金                   | 販売会社が定める期日までにお支払い下さい。  |
| 換金単位                   | 最低単位を 1 口単位として販売会社が定める単位   |
| 換金価額                   | 換金申込受付日の翌営業日の基準価額（1 万円当たり）   |
| 換金代金                   | 原則として換金申込受付日から起算して 5 営業日目からお支払いします。  |
| 申込受付中止日                | ① ニューヨーク証券取引所の休業日<br>② ①のほか、一部解約金の支払い等に支障を来すおそれがあるとして委託会社が定める日<br>（注）申込受付中止日は、販売会社または委託会社にお問合わせ下さい。  |
| 申込締切時間                 | 原則として、午後 3 時 30 分まで（販売会社所定の事務手続きが完了したもの）<br>なお、販売会社によっては異なる場合がありますので、くわしくは販売会社にお問合わせ下さい。   |
| 換金制限                   | 信託財産の資金管理を円滑に行なうために大口の換金申込みには制限があります。  |
| 購入・換金申込受付<br>の中止および取消し | 金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情が発生した場合には、購入、換金の申込みの受付を中止すること、すでに受付けた購入、換金の申込みを取消すことがあります。   |
| 繰上償還                   | 次のいずれかの場合には、委託会社は、事前に受益者の意向を確認し、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了（繰上償還）できます。<br>・受益権の口数が 30 億口を下ることとなった場合<br>・信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるとき<br>・やむを得ない事情が発生したとき  |
| 収益分配                   | 年 2 回、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。<br>（注）当ファンドには、「分配金再投資コース」と「分配金支払いコース」があります。なお、お取扱い可能なコースおよびコース名については異なる場合がありますので、販売会社にお問合わせ下さい。  |
| 課税関係                   | 課税上は株式投資信託として取扱われます。配当控除、益金不算入制度の適用はありません。<br>公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に NISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。<br>当ファンドは、NISA の「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。くわしくは、販売会社にお問合わせ下さい。<br>※税法が改正された場合等には変更される場合があります。 |

## 《当資料のお取り扱いにおけるご注意》

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメントにより作成されたものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認ください。
- 投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。
- 分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ

▶ **大和アセットマネジメント** フリーダイヤル 0120-106212（営業日の9:00～17:00）

当社ホームページ

▶ <https://www.daiwa-am.co.jp/>

iFreePlus 米国配当王（資産成長型）

| 販売会社名（業態別、50音順）<br>（金融商品取引業者名）             |          | 登録番号             | 加入協会    |                         |                         |                            |
|--|----------|------------------|---------|-------------------------|-------------------------|----------------------------|
|  |          |                  | 日本証券業協会 | 一般社団法人<br>金融先物<br>取引業協会 | 一般社団法人<br>日本投資<br>顧問業協会 | 一般社団法人<br>第二種金融商<br>品取引業協会 |
| 株式会社イオン銀行<br>（委託金融商品取引業者<br>マネックス証券株式会社）   | 登録金融機関   | 関東財務局長(登金)第633号  | ○       |                         |                         |                            |
| 株式会社SBI新生銀行<br>（委託金融商品取引業者<br>株式会社SBI証券）   | 登録金融機関   | 関東財務局長(登金)第10号   | ○       | ○                       |                         |                            |
| 株式会社SBI新生銀行<br>（委託金融商品取引業者<br>マネックス証券株式会社） | 登録金融機関   | 関東財務局長(登金)第10号   | ○       | ○                       |                         |                            |
| 株式会社愛媛銀行                                   | 登録金融機関   | 四国財務局長(登金)第6号    | ○       |                         |                         |                            |
| ソニー銀行株式会社                                  | 登録金融機関   | 関東財務局長(登金)第578号  | ○       | ○                       |                         | ○                          |
| 株式会社三菱UFJ銀行                                | 登録金融機関   | 関東財務局長(登金)第5号    | ○       | ○                       |                         | ○                          |
| 株式会社SBI証券                                  | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第44号   | ○       | ○                       |                         | ○                          |
| 岡三証券株式会社                                   | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第53号   | ○       | ○                       | ○                       | ○                          |
| 大和コネクト証券株式会社                               | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第3186号 | ○       |                         |                         |                            |
| 松井証券株式会社                                   | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第164号  | ○       | ○                       |                         |                            |
| マネックス証券株式会社                                | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第165号  | ○       | ○                       | ○                       | ○                          |
| 三菱UFJ eスマート証券株式会社                          | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第61号   | ○       | ○                       | ○                       | ○                          |
| moomoo証券株式会社                               | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第3335号 | ○       |                         | ○                       |                            |
| 楽天証券株式会社                                   | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第195号  | ○       | ○                       | ○                       | ○                          |

上記の販売会社は今後変更となる場合があります。また、販売会社によって、新規のご購入の取扱いを行っていない場合や、お申込み方法・条件等が異なります。くわしくは、販売会社にお問合わせ下さい。